

# 議会だより

vol.47  
2017・2・1



有田(乙熊)の獅子舞

## 第4回定例議会 〈会期：12月8日～12月19日〉

- ▶ 一般会計12月補正予算の概要・議案に対する質疑 ……………P2
- ▶ 議案に対する討論・審査結果 ……………P3
- ▶ 一般質問 14議員が町政を問う ……………P4～P11
- ▶ 低空飛行等訓練の中止を求める意見書 ……………P11
- ▶ 委員会報告 ……………P12～P14
- ▶ がんばってます(広島県新庄学園広島新庄高等学校) ……………P15
- ▶ グループ紹介(豊平中学校そば打ちクラブ) ……………P16

# 補正 予算

# 一般会計予算 8億2000万円増額 千代田中学校体育館 大規模改修工事

2億9859万円



12月定例会は12月8日から19日までの会期で開かれ、補正予算11件、農業委員会委員の定数条例や仁愛園の無償譲渡などの条例17件、その他3件、議員提案の意見書3件などが審議の結果、すべての議案が採択・可決された。

千代田中学校体育館は、昨年度に耐震補強工事を行ったものの、建築後37年が経過しているため老朽化が著しく大規模改修を行うこととなった。

## その他の主な事業

事業名	補正額
新規定住者住宅建築補助金の増額	400万円
間伐・路網整備補助金の増額	3830万円
かんがい排水・農道整備事業費の増額	1600万円
多面的機能支払交付金の増額	1247万円
自立支援扶助費の増額	1886万円
私立保育所運営委託料の増額	4409万円
特別支援学級整備の増額	380万円
地域施行支援事業補助金の追加ほか	649万円
災害復旧費の追加	2220万円
人事院勧告に関わる給与改定等	2310万円

## 旧芸北中学校舎等解体工事



1億4039万円

## 臨時福祉給付金（経済対策分）

消費税率引上げによる低所得者への影響を緩和するための支給措置 **7500万円**

- 1人につき、15000円
- 対象者：平成28年度臨時福祉給付金の支給対象者(4500人見込み)
- 受付開始日：平成29年3月中旬を予定
- 平成29年4月から平成31年9月までの2年半分を一括して支給

## 町道等除雪費の増額



1億500万円

### 議案に対する質疑討論

- 農業委員会の委員等の定数に関する条例**
- 農業委員の定数の変更や委員報酬が出されているが統一か。
- △ 統一されていないが、高い方ではない。
- 選挙から町長の任命になるが独立性が損なわれないか。
- △ 独立性が変わるものではない。
- 養護老人ホーム仁愛園の無償譲渡について**
- なぜ指定管理期間中に譲渡するのか。
- △ 指定管理者から、今年度中に譲渡の申し入れがあった。町としては次の事項により継続して効果的かつ効率的なサービスの提供による入所者処遇の向上が期待できるため譲渡するもの。
- ① 施設運営の基本理念、入所者の処遇方針目標が明確化されていること。
- ② 入所者の快適な生活を第一とした施設改修が計画されていること。
- 広島県内の養護老人ホームの状況は。
- △ 県内31施設あり自治体運営は3施設のみ。
- 養護老人ホームから別な施設への用途変更があるのか。
- △ 「養護老人ホームとして使用し、それ以外の用途に使用してはならない」とする譲渡契約を締結する。
- 土地は無償譲渡する必要がないのではないか。
- △ ① 改修費用と資産価値を比較した場合、改修費用が多かったため。
- ② 安定的に施設運営を行っていく体制づくりのため。
- 将来、施設の所有権を移転されることもあるのではないか。制限付きか無償貸与とすべきではないか。
- △ 「施設の譲渡や貸付、廃止をしてはならない」とする譲渡契約を締結する。
- 今後の施設譲渡等の考え方は。
- △ 施設の用途、これまでの経過、譲渡後の運営など総合的に勘案し判断していく。

# 平成28年12月定例会 議案審査の結果

## ■全員一致で可決・採択された議案・提案

職員給与に関する条例の一部を改正する条例	指定管理者の指定について（千代田開発センター）
一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例	北広島町一般会計補正予算（第4号）
職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例	北広島町国民健康保険特別会計補正予算（第3号）
北広島町税条例等の一部を改正する条例	北広島町下水道事業特別会計補正予算（第2号）
北広島町国民健康保険税条例の一部を改正する条例	北広島町農業集落排水事業特別会計補正予算（第3号）
北広島町浄化槽清掃業に関する条例の一部を改正する条例	北広島町介護保険特別会計補正予算（第3号）
北広島町廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例	北広島町簡易水道事業特別会計補正予算（第2号）
北広島町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	北広島町電気事業特別会計補正予算（第2号）
北広島町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	北広島町診療所特別会計補正予算（第2号）
北広島町分担金徴収条例の一部を改正する条例	北広島町情報基盤整備事業特別会計補正予算（第3号）
北広島町し尿処理場設置及び管理条例の一部を改正する条例	北広島町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）
北広島町簡易水道設置条例の一部を改正する条例	北広島町一般会計補正予算（第5号）
北広島町放課後児童クラブ設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	財産の取得について（雄鹿原診療所DR装置）
提案	
北広島町議会委員会条例の一部を改正する条例	
介護保険の給付縮小・利用者負担増を中止し、充実を求める意見書の提出について	
地方議会議員の厚生年金制度への加入を求める意見書の提出について	

## ■賛否が分かれた議案・提案

○賛成 ●反対 - 欠席

議案名	議員名	真倉	中田	久茂谷	加計	梅尾	森脇	室坂	中村	伊藤	浜田	藤井	蔵升	田村	美濃	大林	宮本	審査結果
北広島町農業委員会の委員等の定数に関する条例		○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	●	○	○	可決
特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例		○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
養護老人ホーム仁愛園設置及び管理に関する条例及び養護老人ホーム仁愛園附属診療所設置及び管理条例を廃止する条例		○	○	○	○	●	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
財産の無償譲渡について（養護老人ホーム仁愛園）		○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
【提案】相次ぐ米軍機墜落に抗議し、低空飛行等訓練の中止を求める意見書の提出について		●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

## ■請願・陳情等の審議・採決

件名	請願陳情者名	審査結果
平成29年度理科教育設備整備費等補助金予算増額計上について	公益社団法人 日本理科教育振興協会会長 大久保昇	採 択
壬生小学校運動場整備に関する陳情	壬生地区振興協議会会長 日山 静樹 ほか4名	採 択
少人数学級の推進などの定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための、2017年度政府予算に係る意見書採択についての陳情書	広島県教職員組合 山県・安芸高田支区山県ブロック 委員長 大久保 明信	採 択
介護保険の給付縮小・利用者負担増の中止、介護保障の充実を求める陳情書	「軍事費を削って、くらしと福祉、教育の充実を」国民大運動広島県実行委員会代表 八幡 直美	採 択

### 議案に対する討論

■農業委員会の委員等の定数に関する条例

#### 反対討論

美濃 孝二

農業委員会委員を公選制から町長の任命制にするもので、農業従事者の自主性が損なわれる。また「意見の公表、建議」が削除されている。現場で農地を守っている農業者の声を反映しにくく、今後は農地利用の最適化だけをやっていけばいいという農業委員会になる心配があり、「農地の番人」としての農業委員会制度を形骸化するものである。

■養護老人ホーム仁愛園を民間に無償譲渡する関連条例

#### 反対討論

美濃 孝二

譲渡条件には「養護老人ホームとして使用し、それ以外の用途に使用してはならない」とあるが、いったん民間に譲渡したのち倒産や経営難などにより養護老人ホームとして事業が続けられなくなった場合や、所有権が他に移った場合を想定しておらず、これでは養護老人ホームとしての貴重な町民の財産を失いかねない。

# 14議員が町政を問う

どうする？ 私たちの町づくり

質問時間30分、質問回数は制限なし。

## 一般質問の順番と質問項目

ページ	質問議員	質問項目	ページ	質問議員	質問項目
4	中田節雄	箕野町政の4年間で町民の声を聞かれた結果は	8	蔵升芳信	見えてこない活性化対策への取り組みを問う
5	森脇誠悟	過疎化がすすむ集落をどう維持していくか		浜田芳晴	次世代を考えるパート15 次世代を考えるパート16
	宮本裕之	水資源を活かした小水力・マイクロ水力発電の導入を 猪鹿庁に学ばべきジビエ肉加工技術と猟師の育成	9	久茂谷美保之	諸問題を問う
6	中村勝義	町長2期目に向けての決意・戦略(施策)を問う どう活かす。スキー教室と事故報告書	10	真倉和之	成年後見制度と行政の役割について問う 地域の特性を活かした地域づくりを問う 地方自治体の公会計制度と予算編成への活用について問う
	梅尾泰文	町職員の健康管理の実態と対応は 北広島町の素晴らしさを発信しよう		田村忠紘	小見谷製鉄遺跡群を県指定に
7	美濃孝二	千代田の水道問題にどう対応するのか 長期総合計画の重点は地域づくり・集落対策ではないか	11	大林正行	過去の検討課題について、その後の状況を問う
	室坂光治	地震による土砂災害・火災被害について問う		伊藤久幸	新町建設計画と平成29年度予算は 免許証自主返納に対する支援策は



中田節雄

**問** 町長は、この4年間「まちづくりのビジョン」を示されることもなく、議会側から様々な提案にも、「町民の声を聞く」と答弁されている。どのような形で声を聞かれたのか伺う。

**答** 町長 声を聞くには様々な手法があり、町政懇談会、各計画の策定委員会、タウンミーティング等である。

**問** 答弁のあったことは、歴代の町長がやってきたことであり、箕野町長の町民の声を聞くことについては、町民の期待

もあり、より広く、より多くの町民の声を聞く場を設けるべきではなかったのか。

**答** 町長 イベント的なやり方ではなく、地域協議会でも聞いている。

**問** 町民の声を聞くという公約のトーンが下がっている。男女別、年齢層の割合はどうか。

**答** 町長 町政懇談会では高齢の方が多く、長期総合計画では女性の方にも、子育て支援について意見を聞いている。

**問** もっと、女性の

方を含め若年層の方の意見を聞くべきだと考えるが、どのように集約されているのか。

**答** 企画課長 集約はしていないが、関係課で対応すべきものもあり、情報は各課で共有し、町政に生かしている。

**問** 豊平病院にしても、早い時期に議会に報告していれば、解決も早かったのではないか。

**答** 町長 最善を尽くしている。議会の声も、当然聞くべきと考えている。

**答**

情報は共有し、町政に生かしている

**問**

4年間町民の声を聞かれた結果は



森脇 誠悟

**問** 過疎化が進む集落をどう維持していくか

**答** 長期総合計画を基に、地域状況に合った個別対応をする

**問** 平成26年度に行

政区長の協力を得て実施された集落支援員による「集落実態アンケート調査」によって明らかになった地域課題は何か。

**答** 企画課長

生活交通が不便、集落維持の不安等、過疎高齢化による後継者不足である。

**問** アンケート結果は、町民に対して公表されているのか。

**答** 企画課長

公表していない。

**問** 地域課題の解決のためには、地域と行政が課題・問題意識を共有することが大切である。現在取り組んでい

る集落活性化策は何か。

**答** 企画課長

集落支援員のサポートにより、住民が中心となって、特産品開発や地域支え合い事業等を実施している。

**答** 町長

現在8地域が取り組みを始めている。今後さらに広げていきたい。

**問** 高知県では、アンケート結果を基に、すぐさま「中山間地域対策課」の新設等、全庁を挙げて地域活性化への取り組みを強化している。本町も、重点課題に対して担当部署の新設や担当者増員等、体制を充実・強化すべきではないか。

**答** 町長

第2次長期総合計画の実行にあたっては、職員の配置や体制も見直す必要があると考えている。

**問** 住民の声を聴き、住民と共に地域課題を解決するために、職員が地域へ出かける「地域担当制」を取り入れるべきと思うが、考えは。

**答** 町長 協働のまちづくりを進める上で、「地域担当制」は選択肢としては考えられるが、現在の人員では対応できない。行革による「職員削減」との整合性もあり、仕事のやり方を変える等の方策を検討したい。



宮本 裕之

**問** 水資源を活かし小水力・マイクロ水力発電の導入を

**答** 導入可能な箇所からの要望があれば調査を行う

**問** 水力発電は、風力・太陽光発電より水量が安定していれば最も効率が良い発電である。また、用水路にもマイクロ水力発電は設置可能である。本町の水資源を活かしたエネルギー開発に取り組むべきでは。

**答** 町民課長

本町の水資源を活かしたエネルギー開発は重要と考える。自然再生エネルギーに対する地域の要望があれば研究調査を行いたい。

**答** 農林課係長

本町における有害鳥獣の被害は増大している。猟師の育成のための免許取得に助成しているが十分な成果が上がっていない。猪鹿庁の取組は参考にする点が多く、里山の保全を猟友会や地域と連携して行く必要がある。

**問** 中山間地域農業の大きな課題に畦畔管理と有害鳥獣対策があげられる。岐阜県郡上市の猪鹿庁は、猪や鹿の肉をハムやソーセージ等に加工販売している。また、猟師の育成のための猟師学校を開くなど、6次産業化に成功し、

**猪鹿庁に学ぶべき有害鳥獣対策**

が望ましいと考える。

※猪鹿庁とは、NPO法人から独立した会社組織。全国の猟師とネットワークを作り様々な活動により里山の保全を行っている。



中村 勝義

問

町長2期目に向け  
その決意と戦略を問う

答

明るく元気なまちづくりを  
目指し計画を実行に移していく

**問** 9月定例会で次期町長選に再選を目指し、立候補する意向を示された。この4年近くの間、公約の実現と多くの課題の解決に向け着実に実行されその成果は高く評価されている。議会としても、あらゆるしや重箱の隅をつつくようなことではなく政策提案をし、緊張感を持って町長に対峙する覚悟で臨む。2期目の決意を問う。

**答** 町長

この4年近くは、公約の実現と新たな課題解決に向け全身全霊を傾注し取組んできたが、道半ばの

ものもある。効果が挙がっているものは引き続き継続し、更に町民の皆様と共に素晴らしいまちづくりを進める。

**問** 今後の4年間は。

**答** 町長

策定中の第2次長期総合計画と昨年度策定した地方創生の総合戦略もあり各種計画を着実に実行に移し、心豊かで元気なまちづくりを進める。

**どう活かす**  
**スキー教室と事故報告書**

**問** 子ども達の体験

活動の充実は他者、自然、環境との直接

的な関わりといった点からも極めて大切なことである。そのひとつとしてスキー教室があり、そのスキー教室で痛ましい死亡事故が発生した。今季のスキー教室の実施と安全対策は。

**答** 教育長

この事故は学校管理下で起こした事故であり、責任は教育委員会にある。学校のスキー教室実施計画と各スキー場の安全対策の連携を図り、新たに安全性を高めたスキー教室を各学校で実施していく。



梅尾 泰文

問

町職員の健康管理の実態と  
対応は

答

安全衛生委員会は機能している

**問** 合併時の職員数と現在の職員数は。

**答** 総務課長

合併時338人。今年4月248人。(90人減)

**問** 学校教育課長

合併時の小学校174人。現在116人。中学校70人が現在73人。(中学校は特別支援学級の増による)

**問** 小学校は統廃合の結果か。

**答** 教育長

その通り。

**問** 一般職員の90人減では行き届いた行政サービスができないのではないか。時間外勤務はどのくらいあるのか。

**答** 総務課長  
月平均11・7時間。最長者で122時間。

**問** 8時間勤務で15日にあたるが、過労死の原因になるのではないか。病気休暇者はいないか。

**答** 総務課長

休業者を含めて数人いる。

**問** ストレスチェックをしたと聞くが目的と効果は。

**答** 総務課長

ストレスの一次予防。アンケート対象者は正規・非正規職員を含めて478人。回収率98・7%。検査結果の報告は本人の同意なくしては事

業者への報告は禁止されている。

**問** 事業主に報告し  
ないと環境整備はできないと思う。当町が設置している安全衛生委員会との関係はどうか。

**答** 総務課長

直接関係はない。安全衛生委員会は、職員の安全と健康の確保や快適な職場環境改善について定期的に行っている。

**問** 順調に機能しているのか。

**答** 総務課長

委員会は副町長、産業医、総務課長、職員側から3人入って構成され機能している。



美濃 孝二

**問** 千代田の水道：国の信頼を得て上流取水にむけ力をつくそう

**答** あらゆる可能性を検討し負担軽減の方策を見出す

**問** 箕野町長に責任はないが、町による長年の違法取水に対し、関係者、町民に謝罪をすべきでは。

**答 町長** 謝罪する。

**問** 20億円もかけ、土師ダムから取水する理由は何か。

**答 上下水道課長** 特定多目的ダム法で貯留水からの取水が規定されている。

**問** 千代田の水道使用者だけの問題か。

**答 上下水道課長** 来年度から簡易水道と水道事業を経営統合する。

**問** 東京に行って直接国土交通省に「濁

水時の取水制限など国に従うことを確約しても上流で取水できないか」と聞いたところ、「本当に水が切実になった時、対応してくれるかわからない」との回答だった。

それなら取水操作を国に預けるなど信用してもらえれば可能性があるのではないか。専門家さえ「社会情勢が変われば法も変わる」といっており、運用での可能性もある。町長が国交省と直接、話し合っ

却のため水利権を取得ることが第一。その後協議していく。あらゆる可能性を検討し、負担軽減の方策を見出す。

**住み続けられる地域づくりを長期総合計画の重点に**

**問** 地域づくりには町職員の地域担当制とホームページ料金の値下げが必要。

**答 町長** 4つの振興協議会の担当をイメージ。

**答 企画課長** ホームページ料金は現行ありきではない。

**答 町長** 違法取水からの脱



室坂 光治

**問** 地震による土砂災害火災被害について問う

**答** 自主防災組織、リーダーの育成・訓練に努める

**問** 我が国は地震国である。10月22日に鳥取県中部で震度6弱の地震があつたが、実際に地震が起きた時には避難訓練のよ

うに行動することはできない。地震が起きた時、起きてからどう対応すべきか。

又地震による土砂災害・火災被害にどう対応するべきか。自主防災活動強化について問う。

**答 危機管理監** 地震が起きたらまず頭を守りしやがむ物が落ちてこない場所に隠れる等の行動をとり、地震が止むのを待ち、余震に気

をつけながら近所同士声をかけ無事を確認して広場など安全な場所に避難する。

防災リーダーの研修は毎年2回行っており現在33名認定者がいる。できるだけ多くの方の参加を望む。

**答 消防長** 地震発生時の火災についてはまず机の下に身を伏せる等、安全をはかり揺れがおさまるのを待って火を消す。火災になつたら回りの人に大声で火事を知らせ、119番通報するとともに、火の高さが目の高さ程度なら消

火器等を使用して初期消火を行ってほしい。

「災害に強いまちづくり」を進める。自主防災組織の役割は重要で自主防災リーダーの育成、防災訓練等も開催して実際に起きた時どう行動すればよいかなど周知に努める。

**答 町長**



蔵 升 芳 信

**問** 見えてこない活性化対策への  
取り組みを問う

**答** 「検討する」「来年度に」

**問** 町外から勤務される方等の定住に向けた働きかけを行う嘱託職員を配置したか。

**答** 商工観光課長  
企業支援員として10月に配置した。

**問** 空き家への定住対策として、業務の一部を外部委託すると言われたが。

**答** 企画課長  
外部委託は困難と判断した。

**問** 「遊び場創生プラン」を年内に策定するとあったが見通しは。

**答** 福祉課長  
計画策定は来年度になる。

**問** 芸北デザイン会議が策定された地域振興計画「芸北森の物語」は、行政としてどう活かすのか。

**答** 企画課長  
最大限活かすが、まずは木質バイオマス利用の取り組みを支援する。

**問** 「道の駅」関連について、商工観光課は本庁に移転すべきでは。また駐車場不足解消の検討やトイレの改修は県にお願いしているが改修時期は不明。

**答** 建設課長  
都市計画道路の整備計画は、本年度中は困難、来年度には結論を出す。

**問** 役場本庁周辺の整備計画は。

**答** 企画課長  
現在検討中である。

**問** 町勢要覧は策定しないのか。

**答** 町長  
課の配置については一長一短あるが、観光協会との連携を重視し現状のままと

**答** 企画課長  
長期総合計画策定後に検討する。



浜 田 芳 晴

**問** 次世代を考えるパート15  
光寿苑の整備計画は

**答** 全体を網羅した計画を考える

**問** 火葬場（光寿苑）は、使用直前に点火しないなど、本年度数回のトラブルが発生している。これに次世代に継いで行けるのか。建築後、何年が経過しているのか。その都度修繕をしながら長寿命化をするのか。

**答** 町民課長  
建築後19年を経過し、今のところ修繕を行いながら長寿命化をはかる。また統合計画も検討する。

**問** 9月定例会決算委員会において、火葬場トラブルの質問に対し、町長は、統合計画の見直し案を検

討しているとの答弁であった。総合的な火葬場整備計画はあるのか。業者によるメンテナンスを年1回は行うことを希望する。

**答** 町長  
今までの計画は、千代田中心の計画であったが、町内2カ所の見直し案で、休憩室などが整備された総合的、また全体を網羅した計画を進める。

**問** 保存会のメンバーも高齢化で地元の

**次世代を考えるパート16**  
**そば打ちの担い手の育成は**

**問** 保存会のメンバーも高齢化で地元の

メンバーも減少する中、地元の後継者を育成するために、学校近くの農場でそばの生産体験をされ、クラブ活動でも打ちそば研究をしている。今では「そばまつり」とよひら」に出店し2年目を迎えた。豊平中学校の空き教室を活用した全生徒が体験できるそば道場の整備はどうか。

**答** 学校教育課長  
全体学習となれば、アレルギーなどの問題がある。保存会や学校からの要望もあり、実現に向けて検討していく。



久茂谷美保之

**問** 諸事情を問う  
免許証自主返納は

**答** 制度の設立は考えない

**問** 全国的に高齢者による、交通事故が増加している。高齢者ドライバー免許証自主返納制度の設立の考えは。

**答** 企画課長

制度の設立は考えていないが、生活交通網整備の見直しで対応する。

**問** バス、タクシー、ホープタクシー利用者への補助券等の配布の考えは。

**答** 総務課長

県内では3市町が補助制度を行っている。また、自主的に補助等を行うタクシー会社もあるが、北広島町では、認知症の

方、高齢者に対して、生活交通の在り方を見直すことを考える。

**答** 農林課長

ジビエの食肉は、地域資源である。先進地視察を行い取り組む。

**問** 近隣市町の施設を活用し、商品化を考えることは。

**答** 農林課長

安芸高田市、安芸太田町に施設があり一つの方法である。検討する。

地区として整備計画を進めている。イベントや地域づくりを進めている地域から整備を行う。

**問** 冬を迎える季節となった。側溝に溜った落ち葉がある。側溝を流れる水が路面に流れ凍結し交通事故の恐れがあるが、側溝の管理は。

側溝の管理は、

**答** 建設課長

国県道は、広島県西部建設事務所安芸太田町支所において、町道は職員等と連携し対応する。



真倉和之

**問** 地域の特性を活かした地域づくりを問う

**答** 担い手となる移住者を呼び込む

**問** 地方創生加速化交付金を活用して整備する長笹地区のお試し住宅は、地形が盛り上がった地区で一段高い所のお寺から見る景色のすばらしさ、オートバイ神社から見る雲海は、まさに天空の長笹である。地域の特性を生かした定住促進に力点を置ける地域であり今後の取り組みを聞く。

**答** 企画課長

長笹地区は高台から見渡す豊かな景観、リンゴの生産や個性豊かな資源や特色がある地域づくりに意欲があり、これらを活

用しながら農業集落活動の担い手となる移住者を呼び込んで行く。

**問** 成年後見制度と行政の役割は

行政の役割は高齢者の権利擁護相談対応に行政が主体となって取り組んで行くべきではないか。

**答** 保健課長

地域包括支援センターの業務として、高齢者の尊厳のある生活を維持し安心して生活できるように関係機関と連携し対応する。

**問** 地方自治体の公会計制度は

地方自治体の公会計制度は平成27年1月23日総務大臣通知で統一の基準での財務諸表の作成期限が平成29年度とされているが何らかの対応が必要では。

**答** 町長

地方公会計制度は現在の会計処理に複式簿記の考えを入れ企業会計的な財政分析、資産、コスト情報等を正確にとらえた財務情報のわかりやすい開示が目的である。



田村 忠 紘

問

小見谷製鉄遺跡群を県指定に

答

地元や県と協議して指定に努力する

問 北広島町上石地区の小見谷川沿いの約4kmにわたって製鉄遺跡群がある。確認されているもの

けれども製鉄遺跡が19ヶ所、炭窯跡が数カ所あり、更に未確認のものも存在する可能性がある。地元住民が自主的に「小見谷製鉄遺跡保存会」をつくり遺跡群の保護に努めている。比治山大学安間拓己教授が学生と共に現地を訪れて調査を行っているが、

遺跡がいつの時代のものか確認がつかめていない。広島県の指定文化財に登録され、発掘調査を行って、営まれた時代の正確な特定を望む。

答 生涯学習課長

豊平地域には約200カ所の製鉄遺跡があり、広島県も重要視している。吉川時代に大きな経済基盤を成していたことは想像できるが、時代の確定に向けて地元や県と協議をして早急に県指定を得るべく努力をする。



製鉄遺跡群の地図



大林 正 行

問

広島・千代田間の高速バス料金が他と比較して高いのでは

答

現状を整理し説明できるもので早急に要望する

問 広島・千代田間の高速バス料金の不均衡問題の対応は。

答 企画課長

中国運輸局は申請があれば審査を行う。バス事業者は、料金は適正であり見直しは考えていないと言っている。

私が対応したバス会社は不均衡を認めている。不公平な料金であるというデーターもある。必要なら住民の署名活動も辞さないが、

答 企画課長

相手方に説明できないものを持って早急に要望する。

産直システムの見直しは

問 「産直システム」には問題が多いが見直しは。また、端末機の故障が多発しているが対応は。

答 農林課長

システムの改修は有償なので出来ていない。端末機は5年が経過し今後修理でなくなる。アンケート調査を行い今後の方針を決定する。

産直は未来永劫に続き、これをサポートするシステムが5年で将来性が見通せないのは無責任ではないか。

答 町長

出荷者協議会の皆

舞ロードICの出荷調整施設の整備は

問 整備状況は。

答 農林課長

補助金の制約があり難しい。

丸押地区への簡易水道の延長は

問 本地明神ハイツの水道は簡易水道に編入したが、丸押地区への延長は。

答 上下水道課長

ゴルフ場より広島市側の集落は来年度工事を行う。その他の地区は水量など総合的に検討する。



伊藤久幸

**問** 新町建設計画の進捗状況と地域格差の打開策は。

**答** 企画課長

進捗状況は

事業費ベース (%)		H25	H26	H27
芸北	45.0	45.6	46.2	
大朝	30.7	32.1	33.3	
千代田	71.1	75.7	78.3	
豊平	32.4	35.3	43.1	

**答** 町長

格差は正と当計画以外の事業も緊急性、必要性を勘案し事業執行を図る。

**問** 平成29年度骨格予算編成は。

**答** 町長

町の指針となる総合戦略、長期総合計画に基づき、少子高齢化対策、観光交流促進策

**問** 新町建設計画と平成29年度予算は

**答** 総合戦略、長期総合計画に基づき予算編成をする

等々を重点施策と位置づけ事業展開を図る。

**問** 美術館構想は。

**答** 企画課長

シンボリック、必要性の高い事業で来年度着手予定。

**問** 水道事業の水源地確保に関する国交省との協議と暫定取水施設工事の事業費は。

**答** 上下水道課長

1億〜1億5000万円、平成29・30年度築造。10年後撤去予定。

**答** 町長

水利権、使用権獲得を優先。暫定取水の関係機関と協議を進める。

**問** 県が吉川関連施設

設への誘客支援また「三矢の訓」をテーマに、3市町で日本遺産へ共同申請する。

**答** 生涯学習課長

単独町費による公有化を視野に地元と協議、整備を進める。

**問** 町民栄誉賞の創設は。(千代田中駅伝、新庄高校野球部)

**答** 総務課長

条例制定に向けて研究を進める。

**問** 免許証自主返納に対する支援策は。

**答** 総務課長

最良の生活交通整備を検討中。

## 低空飛行等訓練の中止を求める意見書

広島県北広島町は、米海兵隊岩国航空基地所属の米軍機訓練空域エリア567やブラウン・ルート直下にあり、昼夜を問わず頻繁に低空飛行等の訓練が行われている。

そのために住民は「いつ落ちてくるかわからない」恐怖におびえ、激しい轟音は平穏な日常生活を脅かし、お年寄りや子供たちからは「寝られない。気分が悪くなる。」など悲鳴が上がっている。

そのようなとき、12月13日には普天間基地所属のオスプレイが沖縄県名護市沿岸に墜落し、その直後には別のオスプレイ1機も飛行中に機械的なトラブルを起こし、普天間基地に胴体着陸したことが明らかとなった。その他にも米軍機の墜落事故が相次いでいる。

よって私たちは、町民の平穏な暮らしと安全を守るため、下記の事を強く要請する。

記

1. 徹底した事故の原因究明及びその情報を公表すること。
2. オスプレイはじめ北広島町上空での米軍機の低空飛行等訓練をやめること。

2016年12月19日

日本国 広島県 北広島町議会

【提出先】

アメリカ合衆国大統領

バラク・フセイン・オバマ 閣下

アメリカ合衆国駐日本特命全権大使

キャロライン・B・ケネディ 閣下

米海兵隊岩国航空基地司令官

リチャード・F・ファースト 大佐 様

相次ぐ米軍機墜落に抗議し、低空飛行等訓練の中止を求める意見書 より抜粋

# 委員会報告

## 総務常任委員会

総務常任委員会は、平成28年10月19日、高知県における集落活動センターを核とした集落の維持・再生に向けた取り組みについて視察研修を行った。

10月19日(水)

### ◎れいほく田舎暮らしネットワーク

嶺北地域(大豊町・土佐町・本山町・大川村)の4町村で構成、人口約1万3000人)へのUIターン者が中心となり平成19年に結成し、移住者による移住支援団体として活動。

移住者交流会、移住相談、空き家の紹介等移住者(希望者)と地域をつなぐ様々な活動を実践している。「結ゆ



い)「人と人、人と地域、地域と地域をつなぐネットワーク」に焦点を当てた移住支援が特徴。

平成24年度から4年間の移住件数は216件324名。子育て世代の移住者が多い地域(県内二)として認知されるようになった。

10月20日(木)

### ◎高知県庁(高知県産業振興推進部 中山間地域対策課)

高知県は、超高齢化と人口減少が急激に進んでいる。中山間地域における「集落実態調査」結果から、「中山間地域対策課」の新設や庁内の中山間対策を横断的に推進するため、知事を本部長とする「中山間総合対策本部」の強化等全庁を挙げての取り組みを強化。



### ▽具体的な中山間対策△

1. 地域支援企画員制度  
県内7ブロックに地域本部を置き、各地域に計64名(平成28年度)が駐在(各市町村に1〜2名)。

2. 集落支援の取り組み

### 集落活動センター

地域住民が主体となって、旧小学校や集会所等を拠点に、生活、福祉、産業、防災等の活動について、地域ぐるみで取り組む仕組み。

平成28年度4月現在、22市町村30カ所で開催。予算2億6700万円。

### 高知Society応援隊

地域外からの人材導入。活動内容は、集落活動センターの運営、産業づくりや地域おこしへの支援活動等。

県内34市町村のうち32市町村、152名導入。



# 委員会報告

## 文教厚生常任委員会

11月8日～10日の日程で視察研修を行った。

### ◎和光市の介護予防事業の取り組み (埼玉県和光市)

○和光市は介護予防事業の先進的な取り組みにより全国から羨望を集めている自治体である。そのため、今回の視察研修は、他の4市議会と北広島町議会の5団体による合同視察研修になった。

○和光市は11kmに8万人が住んでいる。高齢化率は16.9%、高齢者数は13500人である。

○和光市の介護保険認定率は9.4%(北広島町23.%)



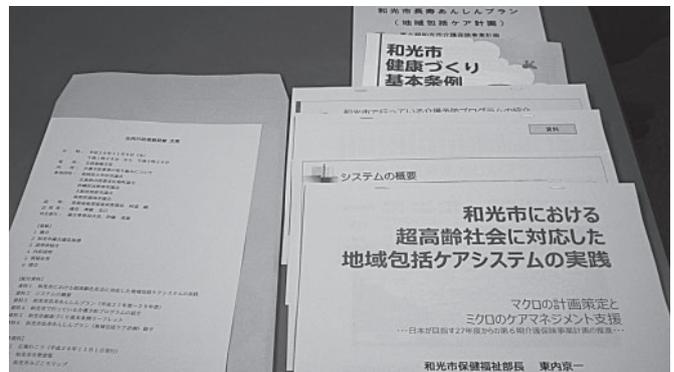
6%)、介護保険料は月額4228円(北広島6342円)であり、介護予防事業の成果が表れている。

○このような成果は、市の施策に市民が呼応した結果であり、介護保険からの卒業が幸福につながるという文化が根付いたものだと言われている。

○ニーズとのギャップが起きないようにアンケート調査を実施し、地域の実態を把握するとともに個人別台帳を作成し個人ケアマネジメントを実施している。

○ミクロのケアマネジメント支援はコミュニティケア会議で個人別プランを作成者、事業者、全参加者で検討しケア方針の確認などを行っている。

○地域、個人一人ひとりに着目し、きめ細かな施策を続けることが成果につながり、特効薬はないとのことであった。



### ◎世田谷区のファミリーサポートセンター事業 (世田谷区社会福祉協議会)

○「困ったときはお互いさま、地域みんなで子育てしよう」が基本理念。

○利用会員は生後43日目以降から小学6年生までの子供の保護者。

○利用会員登録者は約4600人。

○援助会員は18歳以上で子供が好きで心身ともに健康な方。

○援助会員登録者は約700人で50歳代後半から60歳代が多い。

○援助会員になるには半日×6日間の研修が必要である。

○謝礼金は1時間800円。

以上のほか、東京臨海防災公園そなエリア東京での防災体験学習、広島ブランドシヨップT.A.Uを視察した。



# 委員会報告

## 産業建設常任委員会 視察研修

平成28年11月8日(火)～10日(木)

○小水力・マイクロ水力発電による

地域づくり

(岐阜県郡上市白鳥町石徹白)

福井県との県境にある集落。標高700mの高地で冬期は2～3mの積雪があるが発電は止まらず、小水力発電で得る年間2000万円は、地域農業振興や街灯の無料化、自治会費等にあてられる。

らせん型水車や上掛け水車によるマイクロ水力発電の電気は、農業倉庫や加工施設の電力を賄っている。

買い物に車で30分以上かかる立地という悪条件でも近年12組、28人の若者がIターンにより増加している。



▶小水力発電

上掛水車は農業用水を活用し水車を回して発電する。その電力は農産物加工施設に使用されている。

▼上掛水車



▲らせん型水車

らせん型水車は農業用水を活用し、スクリューを回すことで発電する。その電力は農業用倉庫等に使用されている。

○獣害対策とジビエ加工肉による6次産業化

(猪鹿庁／岐阜県郡上市八幡町市島)

猟師こそが里山の保全者であるという理念のもと狩猟を絡めた様々な事業を行っている団体。郡上市は面積1030km<sup>2</sup>でその90%が山林である。高齢化で猟師も減少し、獣害被害は年間4億円を超える。平成13年に「NPO法人メタセコイアの仲間たち」から「猪鹿庁」を立ち上げ、狩猟講習会・解体講習会・ジビエ肉加工施設等の取組を通じて現在は会社組織で運営に当たっている。Iターンで名古屋から定住した安田氏が中心となり、女性や若者が多く参加しており、猟師学校も盛会で、全国のネットワークも広げ全国猟師サミットの初回開催地でもある。



▶ジビエ加工肉

がんばっています!!

## 高広島新庄学園

### 広島新庄高等学校

地域に育てられ  
地域に貢献する

◆新庄学園は明治42年に旧新庄村民ら地域の有志の拠金によって設立され、107年の歴史を重ねて全国唯一の中山間地にある伝統私学として知られるようになりました。



◆学年4クラス、全校生徒数は433名で、そのうち131名が北広島町内の生徒です。私学の特性から、生徒は北広島町はもとより県内各

域、島根県ほか県外からも入学しています。全校生徒のうち約200人が寮で生活し、約160人がスクールバスで通っています。魅力ある学校にする努力にあわせて、通学できる環境作りに長く努めてきた結果、広い範囲から登校できる環境ができています。

◆新庄高校には難関大学への進学をめざすI類と多様な進路を展望するII類の類型があります。北広島での3年間で学問に勤しみ、スポーツや文化活動に励み、その活躍のフィールドを全国へと展開しています。一人ひとりの進路の実現に向けて支援することこそが新庄学園の使命です。

◆新庄高校では夢の実現に向けて多様な仕組みを準備しています。習熟度別の授業はもとより、さらに発展的内容を学ぶ生徒には「新庄塾」を展開し、3年生には平日21時まで

#### 過去3カ年の進路

国立大学	33
公立大学	26
私立大学	199
短期大学	15
専門学校	34
就職	12
その他	9

の「夜間学習」があり、休日は8時半から17時まで教室を開放する「休

日学習」が行われます。他の学年も毎日「錬成」の時間を設け、日々の学習をふり返ります。男子寮・女子寮ともに学習室を設けて学習環境を整え、校内のICT設備も年々増えて現在6教室になりました。地道な学習の継続が新庄の活動の柱です。

◆新庄の教育の特徴は長い歴史に裏打ちされた全人教育です。この教育をめざし、教職員は生徒への面接を繰り返し、生徒を親身になって育てる校風ができあがりました。今年で70回を迎える体育祭は学校の雰囲気伝えるものとして有名です。



◆新庄学園はイギリスのカンプトン高校と台湾の宜寧と高級中学と姉妹校提携し、交流を続けています。昨年



#### 平成28年度のクラブ活動主な実績

硬式野球部	全国高校野球選手権出場・国体準優勝
ソフトテニス部	全国高校総体個人戦出場 中国高校新人大会第3位
スキー部	全国高校総体個人戦出場・国体出場
テニス部	中国高校新人選手権大会個人戦準優勝
剣道部	中国高校選手権大会出場
吹奏楽部	全日本吹奏楽コンクール中国大会銅賞

新庄高校は7限授業や補習授業なども多く練習時間は決して長くありませんが、文武両道をめざして多くのクラブが努力して、着実に実績をあげています。

◆夏の甲子園大会は北広島町全域で熱気あふれる応援をいただき、ありがとうございました。



は宜寧から先生2名生徒26名が本校を訪問されました。今年は本校が両校を訪問します。自然体の国際交流により世界に視野を広げていきます。

# グループ紹介



高橋名人(写真右)から指導を受ける部員

5月から豊平手打ちそば保存会 児玉洋一会長さんをはじめ、保存会のみなさまにご指導いただいた賜物であると心より感謝申し上げます。

来年はそばづくり30周年という節目の年であります。本校のそば打ちクラブの部員は今後、より一層精進して、そば打ちを極めて参ります。これからもこの豊平小中学校豊平学園ならびに、豊平中そば打ちクラブの応援をよろしくお願いいたします。

10月29日(土)豊平小中学校豊平学園の地域公開文化祭において、豊平中学校そば打ちクラブの部員12名が地域貢献活動の一環として、自分たちでそばを打ち、振る舞いました。当日用意した150食全て出しました。学校で地域の子どもたちがそばを打つことは豊平手打ちそば保存会の夢の実現への第一歩でもありました。

11月19日、20日と「そばまつりとよひら」にも出店し、日頃の修行の成果を披露させていただきました。お陰様で、2日間で842杯振る舞うことができました。

## 豊平中学校

### そば打ちクラブ

(豊平地域)

代表 校長 久川伸介

## 表紙の写真

おどくま

昔より、毎年12月の乙熊の森神社(北広島町有田乙熊)に奉納されていた獅子舞を、約40年前から、乙熊土曜会の発足により獅子を活用して、正月に各戸を回っています。

一人ひとりの頭を噛み、無病息災を願っています。

正月に家族が帰郷して、獅子と写真を撮ることも恒例となっています。今

後も伝承

していく

ため、後

継者との

練習を行

ない、こ

れも年代

を超えた

交流の場

となつて

います。

(地域の世

話人より)



【ご意見や提案の連絡先】  
050-5812-1862  
(議会事務局まで)

【発行責任者】  
議長 藤堂 修壮  
【議会広報特別委員会】  
委員長 梅尾 泰文  
副委員長 美濃 孝二  
委員 久茂谷美保之  
委員 森脇 誠悟  
委員 室坂 光治  
委員 藤井 勝丸  
委員 宮本 裕之

## あとがき

今回の47号で、現在の議会広報特別委員会メンバーでの発行は最後となります。

町民の皆様には、「議会だより」を愛読していただきありがとうございます。今後も新メンバーにより素晴らしい広報作成に努力して参りますので、これからもよろしくお願ひします。

